

学習・教育到達目標についてのJABEE基準との対応関係表

	JABEE基準																									
	(a)		(b)				(c)		(d)			(e)					(f)			(g)		(h)		(i)		
	a1	a2	b1	b2	b3	b4	c1	c2	d1	d2	d3	e1	e2	e3	e4	e5	f1	f2	f3	g1	g2	h1	h2	i1	i2	
機械システム工学科の分類	1	○	○														○	○	○							
	2			○	○	○	○						○		○											
	3							○	○	○					○											
	4										○				○	○										
	5								○	○					○	○										
	6								○		○		○		○	○	○									
	7																				○	○	○	○		
	8															○	○	○	○						○	○
	9		○				○						○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○

JABEE基準	
(a)	地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養
	a1 人類のさまざまな文化、社会と自然に関する知識
	a2 それに基づいて、適切に行動する能力
(b)	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
	b1 当該分野の技術が公共の福祉に与える影響の理解
	b2 当該分野の技術が、環境保全と社会の持続ある発展にどのように関与するかの理解
	b3 技術者が持つべき倫理の理解
	b4 上記の理解に基づいて行動する能力
(c)	数学および自然科学に関する知識とそれらを用いる能力
	c1 当該分野に必要な数学及び自然科学に関する知識
	c2 上記の知識を組み合わせることも含めた応用能力
(d)	当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを用いる能力
	d1 当該分野において必要とされる専門的知識
	d2 上記の知識を組み合わせることも含めた応用能力
	d3 当該分野において必要とされるハードウェア・ソフトウェアを利用する能力
(e)	種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
	e1 解決すべき問題を認識する能力
	e2 公共の福祉、環境保全、経済性などの考慮すべき制約条件を特定する能力
	e3 解決すべき課題を論理的に特定、整理、分析する能力
	e4 課題の解決に必要な、数学、自然科学、該当する分野の科学技術に関する系統的知識を適用し、種々の制約条件を考慮して解決に向けた具体的な方針を立案する能力
	e5 立案した方針に従って、実際に問題を解決する能力
(f)	論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
	f1 情報や意見を他者に伝える能力
	f2 他者の発信した情報や意見を理解する能力
	f3 英語等の外国語を用いて、情報等をやり取りするための能力
(g)	自習的、継続的に学習する能力
	g1 将来にわたり技術者として活躍していくための継続的研鑽の必要性の理解
	g2 必要な情報や知識を獲得する能力
(h)	与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
	h1 時間、費用を含む与えられた制約下で計画的に仕事を進める能力
	h2 計画の進捗を把握し、必要に応じて計画を修正する能力
(i)	チームで仕事をするための能力
	i1 他者(自分とは異なる分野の専門家)と協働する際に、自己のなすべき行動を的確に判断し、実行する能力
	i2 他者(自分とは異なる分野の専門家)と協働する際に、他者のとるべき行動を判断し、適切に働きかける(他者の能力を利用する)能力

機械システム工学科基準	
1	社会人として必要な教養、語学能力、国際的思考の習得と心身の鍛錬を行う。
2	工学全般に必要な物事の考え方、基礎知識・能力、技術者としての心構えや倫理観を学ぶ。
3	工学全般の基礎となる科目の学習と共に、機械システム工学を構成する各専門分野の基礎力を習得する。
4	各専門分野の基礎的な物理現象や計測・制御技術などの体験を通じて、習得した基礎力を実践力へと高める。
5	機械システムを設計し統合する理論を学ぶため、高度な専門知識を習得する。
6	幅広い工学的知識を横断的に用いて、発展的課題を解決する力を養う。
7	主体的に計画性を持って行動し、自主的かつ継続的に学習する力を習得する。
8	技術者として社会を担うため、協働により目標を達成する力を習得する。
9	理論的な裏付けのある発想と論理的な思考に基づいて、現実を想定した問題を解決する能力を身に付ける。